

会 議 録

会議の名称	令和5年度第1回茨木市スポーツ推進審議会
開催日時	令和5年8月1日(火) (午前・ <u>午後</u>) 6時30分開会 (午前・ <u>午後</u>) 8時30分閉会
開催場所	茨木市役所南館10階大会議室
議長	辰本委員(会長)
出席者	柳原委員、吉崎委員、辰本委員、曾根委員、池田委員、長田委員、 片桐委員、桂木委員、小林委員、塚本委員、野口委員 【11人】
欠席者	なし
事務局職員	中井市民文化部長、小西スポーツ推進課長、坪田スポーツ推進課参事、 寺本施設管理係長、大西職員【5人】
開催形態	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 / <input type="checkbox"/> 非公開
議題(報告事項・案件)	1 会長の選任について 2 職務代理者の指名について 3 茨木市スポーツ推進計画について 4 補助金関係 5 令和4年度三島地区及び大阪府総合体育大会の結果について 6 その他
配布資料	<p>案件3関係</p> <p>(1) 茨木市スポーツ推進計画実施状況 1～30</p> <p>(2) スポーツ施設利用状況(令和2～令和4年度) 31～34</p> <p>(3) スポーツ教室参加状況(令和2～令和4年度) 35</p> <p>(4) スポーツ大会参加状況(令和2～令和4年度) 36～37</p> <p>(5) 総合型地域スポーツクラブの教室実施状況 38～41</p> <p>案件4関係</p> <p>(1) 茨木市スポーツ大会関係事業補助金 42～44</p> <p>(2) 茨木市体育協会事業補助金 45～47</p> <p>(3) 提案公募型スポーツ推進事業補助金 48～52</p> <p>(4) 茨木市トップアスリート支援事業補助金 53～57</p> <p>案件5関係</p> <p>(1) 第46回三島地区総合体育大会結果及び得点表 58</p> <p>(2) 第76回大阪府総合体育大会結果 59</p>

議 事 の 経 過

発 言 者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	開会にあたり、市民文化部長 中井よりあいさつを申しあげる。 【中井部長 あいさつ】
事務局	会議は、本来だと、会長が議事進行することとなっているが、本日は、会長が選任されるまで、スポーツ推進課長の小西が進行役を務める。 これより令和5年度第1回茨木市スポーツ推進審議会を開会する。 まず、事務局から委員の出席状況の報告を求める。
事務局	本日の委員の出席状況について、委員総数11人のうち、出席は11人となっている。半数以上の出席により、茨木市スポーツ推進審議会条例第6条第2項により、会議は成立している。 (委員及び事務局職員の紹介)
事務局	それでは、案件1として、当審議会の会長の選出に移る。 本審議会の会長は、当審議会条例第5条第1項で、「委員の互選により定める」こととなっているが、具体的な方法について、意見はないか。
片桐委員	前回の審議会から会議をまとめていただいている、追手門学院大学スポーツ研究センター長の辰本教授に会長をお願いしてはどうか。
事務局	ただ今、片桐委員から会長は、辰本委員にとの提案があったが、異議はないか。 【異議なしの声】
事務局	異議がないので、会長は辰本委員に決定する。
辰本会長	【会長あいさつ】
事務局	これからの議事は、当審議会条例第6条第1項の規定により、会長が議長を務めることとなっているので、辰本会長に議事進行をお願いする。
辰本会長	それでは、案件2として、当審議会条例第5条第3項に基づき、職務代理者を選任する。職務代理者は会長が指名することとなっているので、私から職務代理者として曾根委員を指名する。
辰本会長	次に、審議会の公開について諮る。事務局から説明を求める。
事務局	本市では、審議会等の会議は、個人に関する情報を審議する場合などを除き、公開を原則とし、審議会等に諮ったうえで決定することとしている。また、審議に関して提出された資料についても、傍聴人が閲覧できること

議 事 の 経 過

発 言 者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
辰本会長	<p>としている。 会議録は、本市ホームページ等で公表を予定している。 なお、会議録については、審議会の承諾があれば、発言者の氏名を明記して公表をしたい。 関係資料として、参考資料の4ページから7ページに「審議会等の会議の公開に関する指針」及び「当審議会の傍聴要領」を掲載している。</p> <p>ただ今、事務局から審議会の公開と傍聴要領についての説明があった。今後、非公開とすることが適当と考えられる案件が発生したときには、その都度、当審議会で諮って決定することとし、会議は公開することとする。 また、会議録に発言者の氏名を掲載することについても、事務局案に対して、異議はないか。</p> <p style="text-align: center;">【異議なしの声】</p>
辰本会長	<p>異議なしと認め、審議会は公開とし、傍聴要領に従い傍聴を認めることとする。 本日、傍聴者はいるか。</p>
事務局	<p>いる。</p>
辰本会長	<p>それでは、案件3から案件5までは関連する項目のため一括して審議をお願いします。事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>案件3「茨木市スポーツ推進計画」について説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茨木市スポーツ推進計画実施状況 ・スポーツ施設利用状況（令和2年度～令和4年度） ・スポーツ教室参加状況（令和2年度～令和4年度） ・スポーツ大会参加状況（令和2年度～令和4年度） ・総合型スポーツクラブの教室実施状況 <p>続いて、案件4「補助金関係」について説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ大会関係事業補助金 ・体育協会事業補助金 ・チャレンジいばらき補助金 ・茨木市トップアスリート支援事業補助金 <p>続いて、案件5「令和4年度三島地区及び大阪府総合体育大会の結果」について報告。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第46回三島地区総合体育大会結果及び得点表 ・第76回大阪府総合体育大会結果
辰本会長	<p>案件3から案件5までの説明について、意見、質問はないか。</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
塚本委員	<p>推進計画進捗状況の資料P26にある「スポーツ活動に適した設備整備」について、今年度は市民体育館アリーナに空調設備設置工事の予算があがっているが、冷暖房費による使用料の改訂は予定しているのか。また、他の体育館の今後の年度ごとの予定はいかがか。次にP27の「オーパスシステムの運営」について、1団体が複数枚のオーパスカードを持っていることが見受けられる。抽選時の不公平さはどう考えているのか。また、年度ごとにチェックのための調査をしているのか。</p> <p>次に、WBGTについて、オーパスシステムにはトップ画面に「危険であれば中止してもらえば利用料を返還する」と表示されているが、スポーツ庁の指針ではWBGT31度以上では運動中止となっているので、もっとホームページ等で注意喚起すべきではないか。</p>
事務局	<p>体育館の空調設置について、今年度は市民体育館に設置し、来年度以降、東市民体育館、南市民体育館、福井市民体育館と順次進め、令和9年度中には市内の体育館に設置が完了する計画を立てている。使用料については、検討中であるが熱中症対策が大きなポイントだと思っており、他市も参考にして検討していきたい。</p> <p>オーパスシステムの運営については、体育館に限らず複数のオーパスカードにより抽選申し込みをしていることが見受けられる。現状では、オーパスカードの登録の際に、団体名、代表者、副代表者が重なっているものについてはチェックしている。しかしながら、メンバーの中に重なっている者が含まれているかのチェックはできていない。</p>
塚本委員	登録の際の名簿からチェックできないか
事務局	現状では高校生以下団体についてのみ名簿を提出してもらっている。熱中症については、WBGT28度から声掛けを行い、31度以上で危険であることを周知している。
池田委員	<p>スポーツ推進委員の活動で、畑田小学校において、ふうせんバレーボールの依頼があったが、暑さ指数により夏休み中は中止とした。</p> <p>小学校では厳しく、スポーツクラブに来ると指導者の判断により甘くなっており、共通の基準が必要だと感じる。</p>
曽根委員	大学においても同じ状況で指導者が心配して声掛けをしても学生が練習熱心でやめない。強制力をどこまで待たせるのか大学内でも統一されていない状況である。熱中症は避けられるものなので徹底していくべきだと考える。
野口委員	小中学校では厚生労働省が発表している大阪府の指数がWBGT31度で体育及び水泳授業、部活動も中止としている。

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
池田委員	<p>推進計画進捗状況のP59の大阪府総合大会の資料と同様に、応援している意味を込めて大阪府障がい者スポーツ大会の結果も掲載してはどうか。</p>
長田委員	<p>暑さ対策について、過去に小学校の交流親善スポーツ大会の審判団の一員として開催時期を7月から10月に時期を遅らせたことがある。また、成人のソフトボール大会でも命に係わる事例が何例かある。推進計画の進捗状況については、30、40代の女性のスポーツ実施率が低い、市の対策はどうか。また、地域スポーツの推進について、総合型地域スポーツクラブを3団体にするための方策が気にかかった。ニュースポーツの普及については、地区体育祭をニュースポーツの大会に変えてはどうかとの提案もある。参加者を増やすための施策について考えたい。</p>
池田委員	<p>女性のスポーツ実施率を上げることについては、働く方が多くなったことや婚期が遅くなっていることが問題で、1パーセント上げるにも相当な苦勞があると感じる。</p> <p>ニュースポーツについては、子ども、障害者から高齢者までそれぞれが取り組める種目をやってもらっている。畑田小学校においては昨年度から地区体育祭をポッチャ大会としており景品も豪華で参加者も多く大盛況となっている。これまでの運動ができる方が注目されるのではなく、だれでも参加できることが好評である。</p>
辰本会長	<p>障害者スポーツについて、発言をいただきたい。</p>
池田委員	<p>障害者スポーツは社会を映す鏡と言われており、障害者などに優しい社会は誰にでも優しい社会であり望ましいと思っている。</p> <p>現在、総合型地域スポーツクラブと行政が連携して月2回開催している障害者対象のスポーツ教室を担当しており、ポッチャ交流大会をめざして頑張ってもらっている。そこで、障害者の方でどこにも所属せず引きこもっている方の居場所が確保されスポーツに親しんでもらうことがスポーツ実施率を底上げするものと思っている。ポッチャ交流大会参加者の目標については、新型コロナウイルス感染症の対策としても100名が妥当な数字だと思っている。</p>
曾根委員	<p>障害者のスポーツ参加について、統計でも障害者の割合が約8パーセントとされているので、それを踏まえた上で十分な数字なのか議論をするのが良いと思われる。また、スポーツ実施率の向上について、女性の30代のスポーツ実施率を上げるためにキッズルームの確保、子どもと一緒にできるスポーツを提案することがあげられる。また、競技スポーツに関する中央組織では、女性コーチのためにキッズルームが完備されている。子育て世代の男性が参加する為にも、そのような環境の整備が大切だと感じる。熱中症対策については、ハインリッ</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
辰本会長	<p>ヒの法則にもあるようにヒヤリハットの事例を収集して重大事故を回避することが大切だと思う。</p> <p>部活動の地域移行について発言はどうか。</p>
野口委員	<p>今年度から月 1 回、部活動の地域移行についてのあり方委員会を開催して、校長 2 人と学校教育推進課が打ち合わせを続けている。現状では国が示している地域移行は本市では難しいと考えているが、長期的にはその方向で進めていけば良いと考えている。受け皿の問題やニーズもあるので、まずは合同部活と拠点校部活の方向で整理を進めている。団体競技は合同部活や拠点校部活には制約があって導入が難しいが、個人種目は比較的導入しやすく進めている。地域の方で移行が可能な種目があれば、モデルとして進めることができると考えている。現場としては専門で指導できる教員がいないことが課題であるが、生徒が学校で放課後に好きな種目を学ぶことが理想である。教員も専門外であれば顧問となる方も少なくなっている。部活動指導者、指導員の増設、地域団体からの派遣も拡がればと思う。何年先になるか分からないが、地域でスポーツに取り組む生徒が増えることを望んでいる。</p>
辰本会長	<p>大学でも学生のクラブ員が中学校の部活動を指導することが進められている。</p>
桂木委員	<p>スポーツ施設の整備に係る予算が昨年度より 7 千万円程度増額されていることに感謝したい。ランニングコストについて、空調設備には電気代が加算されると思うが、照明の LED 化が進めば冷却費も抑えられるのではないか。</p> <p>次に、福祉ではウォーキングアプリでポイントを貯めて商品交換もあると聞いているので、連携して推進することも効果的ではないか。</p> <p>地区運動会では、主催は実行委員会であるが、実行委員会は自治会で構成されており、子ども会も自治会に所属している。地区運動会は自治会に加入していないと参加できないので、自治会加入世帯が少な地区では運動会の参加者も少なくなっている。</p> <p>現状では地区運動会が広く市民に開かれた状況ではないと考える。また、運動会開催を 70 歳以上の高齢者が支えていることも課題であり、持続可能ではなくなっているのではないか。このような地域を支えている方に対する功労に注目してはどうか。それに伴い地域が盛り上がり、活躍する方が増えるのではないか。</p> <p>暑さ指数については、小学校では大阪府からの指標を基に運動会の練習と水泳授業の実施を判断している。</p>
長田委員	<p>私の地区では運動会を公民館主催で開催している。地区対抗の形をとるので自治会も協力いただいているが選手選出は子ども会にお願い</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
塚本委員	<p>いしている。弁当については、競技に出場する方全員にお渡ししている。</p> <p>部活動の地域移行について、昨年にも質問したが他市に比べて茨木市が遅れている印象を持っている。土日の部活移行も含めて、学生と教員に対してどのようなニーズがあるのかアンケートを実施できないか。また、教育委員会とスポーツ推進課が準備委員会を組織して進めていく必要があると思っている。</p>
池田委員	<p>部活動の地域移行は大変重要な問題であり、スポーツ推進委員も担い手に含まれていると聞いているが、ひと昔前の部活動とは違うので高齢となると難しいのではないか。大阪府の委員の寄り合いによると、茨木市は遅れている印象で、スポーツに関わっている人口が少ないこと、親世代がスポーツをしないとその連鎖で子どももしないことが理由だと考える。子どもが喜ぶような、遊びながら運動に取り組むことがいいのではないか。</p>
吉崎委員	<p>推進計画進捗状況P4の「スポーツに関する情報の積極的発信」について、市のイベントだけではなく、スポーツ団体がSNS等で自分たちのチームを紹介する使い方をすれば、市民の方がやりたい競技の情報を入手しやすくなるのではないか。</p>
池田委員	<p>そのような意見を受けて茨木市では5月にキッズスポーツフェスタを開催して、やってみたい競技を体験できる機会を提供している。今後は、子ども向けだけでなく成人向けにも望まれる。</p>
小林委員	<p>西河原地区では昨年から午前中を小学校運動会、午後から地区の運動会としている。この方法で運動会をすると参加者を集める自治会の負担も少ない。今では子ども会が少なくなっておりPTAがない小学校や中学校もある。実行委員の高齢化も進んでおり、若い方の協力が少ない。</p>
池田委員	<p>地区によっては子どもの数や世帯数が多いため1日でできないところもある。</p>
片桐委員	<p>スポーツ推進審議会で意見を交わすことは大変重要だと思う。私が所属するスポーツ少年団については、昨今、団員数と指導者数が少なくなり運営が厳しくなっている。また、親世代のジェネレーションギャップもあり、スポーツ少年団の理念・理想が浸透しにくくなっている。今後は門戸を広げて学校も含めて地域との連携について進めたい。</p> <p>スポーツ少年団では、所属する個々のチームが横のつながりを図るために、第49回グラウンドフェスティバルを中央公園グラウンドで4</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
長田委員	<p>年ぶりに開催する。内容は片方で運動会形式、片方ではチーム単位で模擬店を出店するもので、皆様には9月17日の午前10時から午後3時の間に是非来ていただきたいと思っている。</p> <p>茨木市におけるスポーツ推進計画の進捗状況について、他の北摂都市と比べるなど客観的に分析してはどうか。</p>
辰本会長	<p>各委員から種々意見をいただいた。 他に意見はないか。なければ、次の案件に入る。</p>
辰本会長	<p>案件6「その他」として、何か意見や報告はないか。</p> <p>なければ、本日の案件は全て終了した。 以上で、第1回茨木市スポーツ推進審議会は閉会とする。</p>